

個人投資家の皆様への会社説明会 in 大阪

2025年8月18日 オービックホール



日本パレットプール株式会社

証券コード:4690

- ・商号 : 日本パレットプール株式会社
- ・上場 : 東証スタンダード市場(証券コード:4690)
- ・設立 : 1972年5月(今年で53年目)
- ・資本金 : 7億67百万円
- ・本社 : 大阪市北区芝田2丁目8番11号
- ・事業内容 : パレットのレンタルや販売、
物流機器のレンタルや販売
- ・従業員数 : 107名(2025年3月末時点)
- ・売上高 : 69億円(2025年3月期)



- ・ 私たちは、果敢な挑戦により、持続的な成長を果たします
- ・ 私たちは、環境に優しい物流サービス・物流商品の提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します

自社所有パレット

発地:大阪
A社

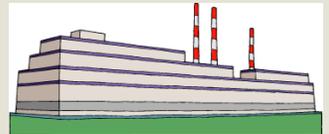
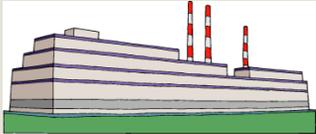
輸送

着地:東京
B社

空パレット回送

長距離のため
高コスト

着地:大阪
A社



NPPパレットプールシステム

A社近隣
NPPデポ

貸出

発地:大阪
A社

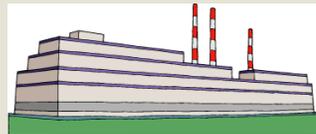
輸送

着地:東京
B社

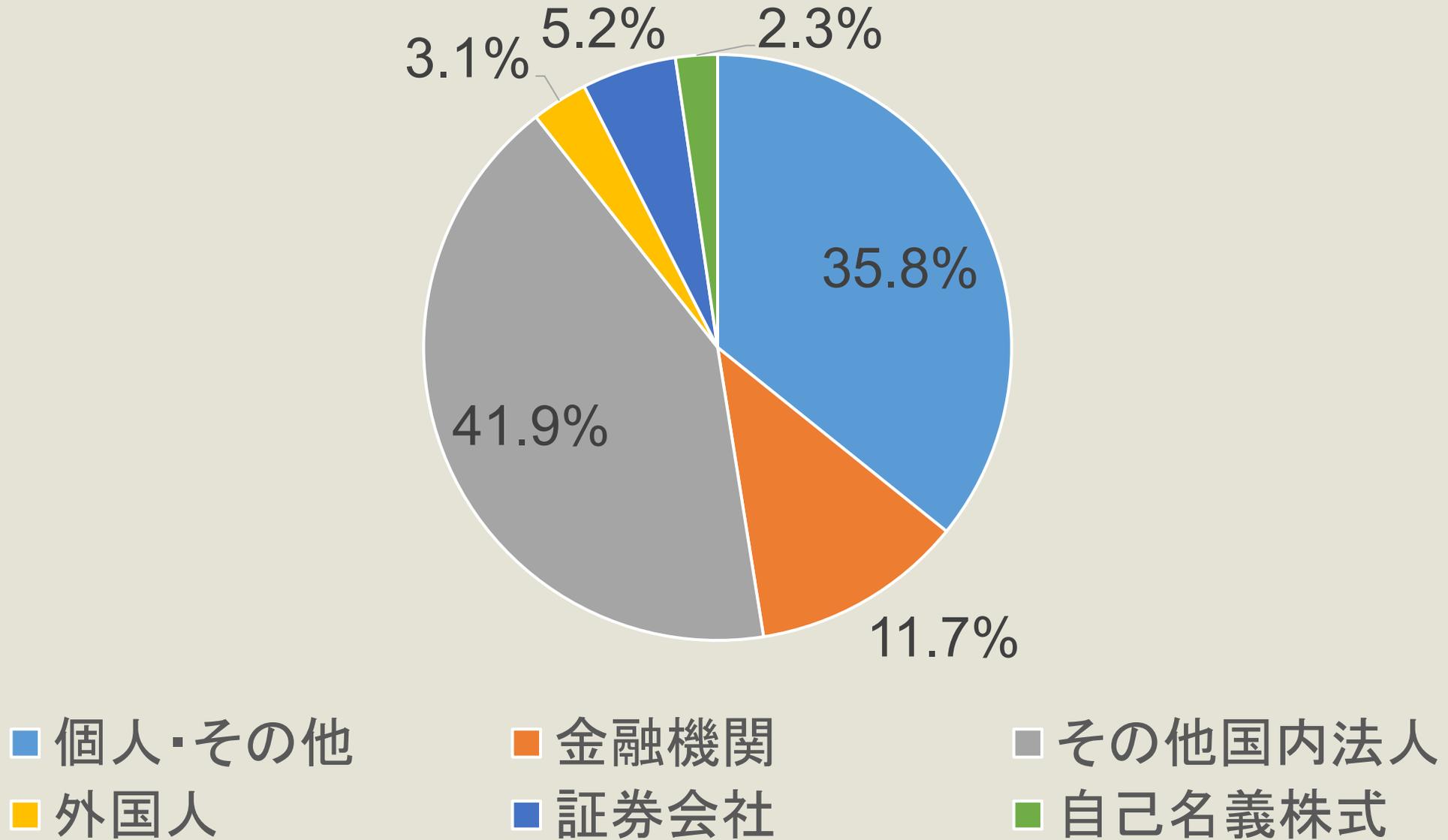
空パレット返却

近距離のため
低コスト

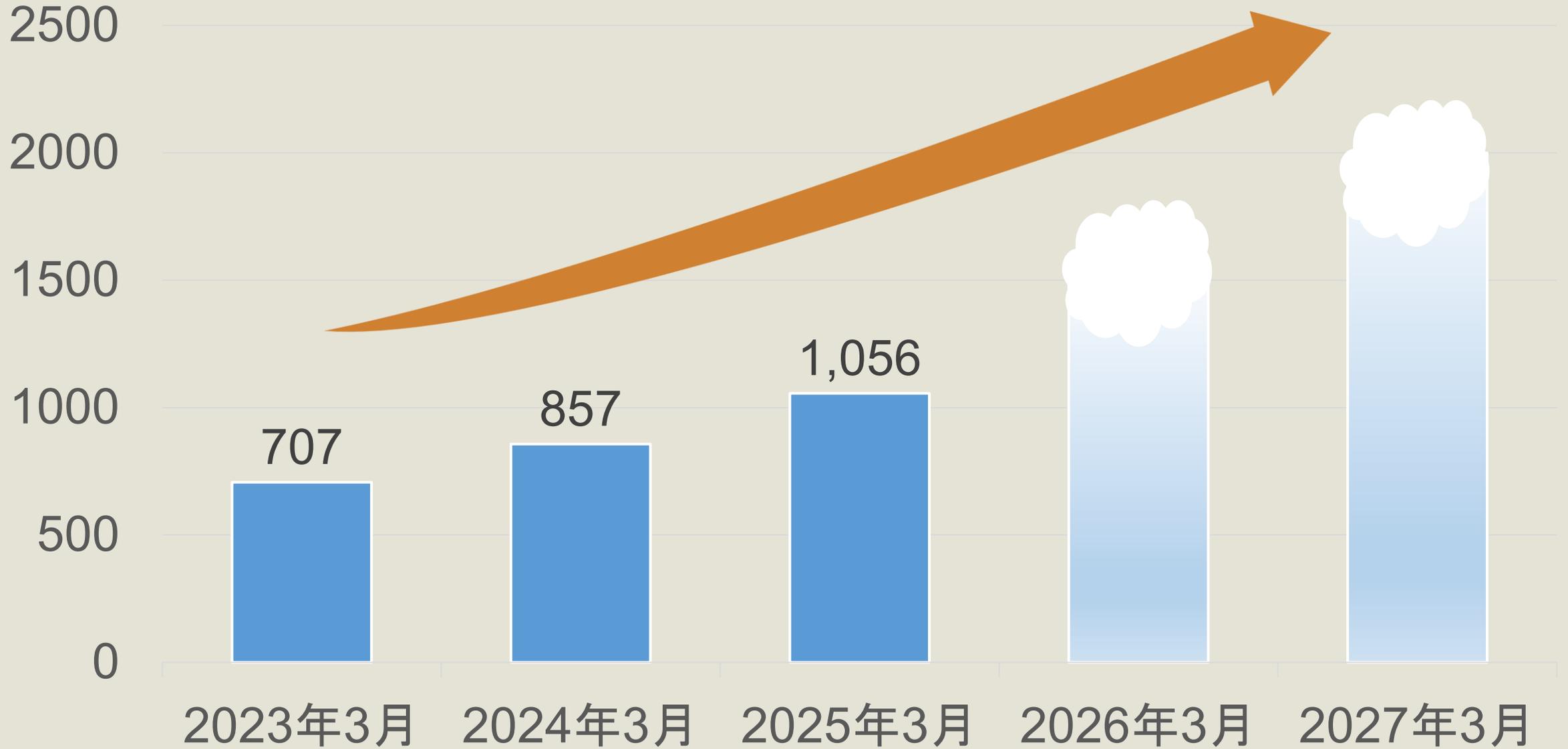
B社近隣
NPPデポ



所有者別株式保有比率(2025年3月末時点)



個人株主数推移

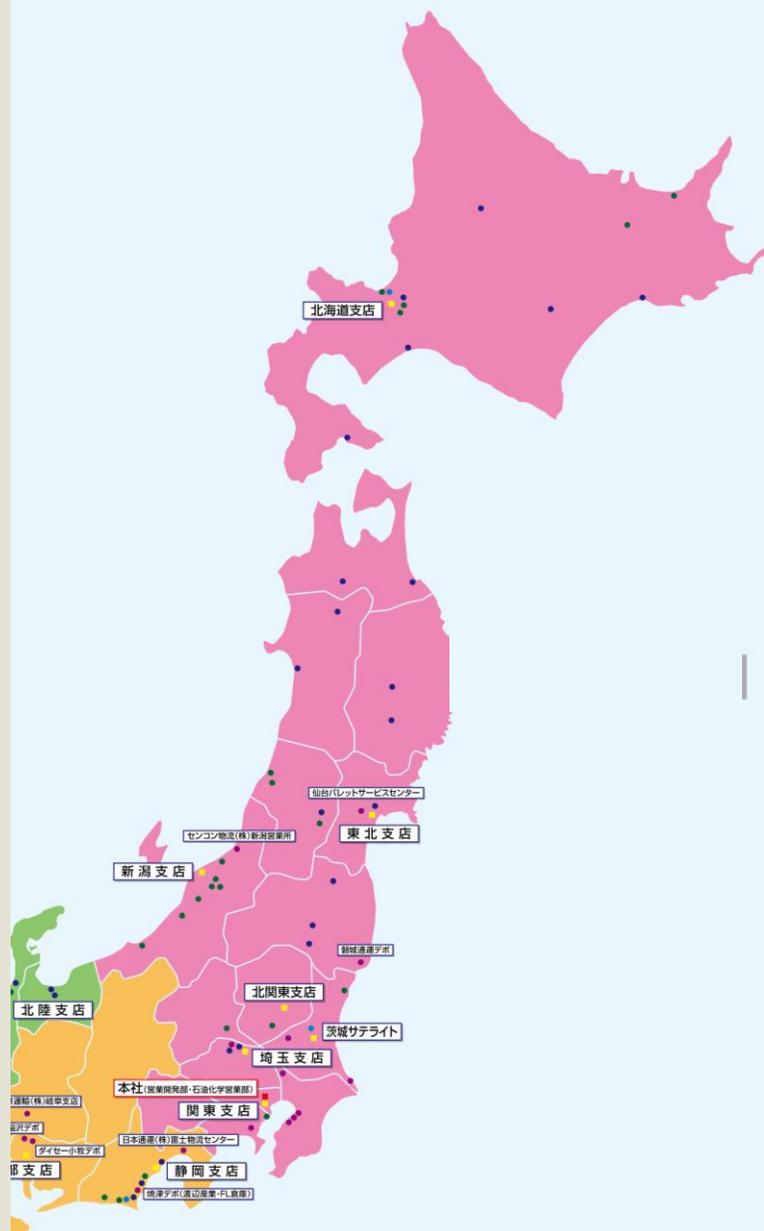


凡例

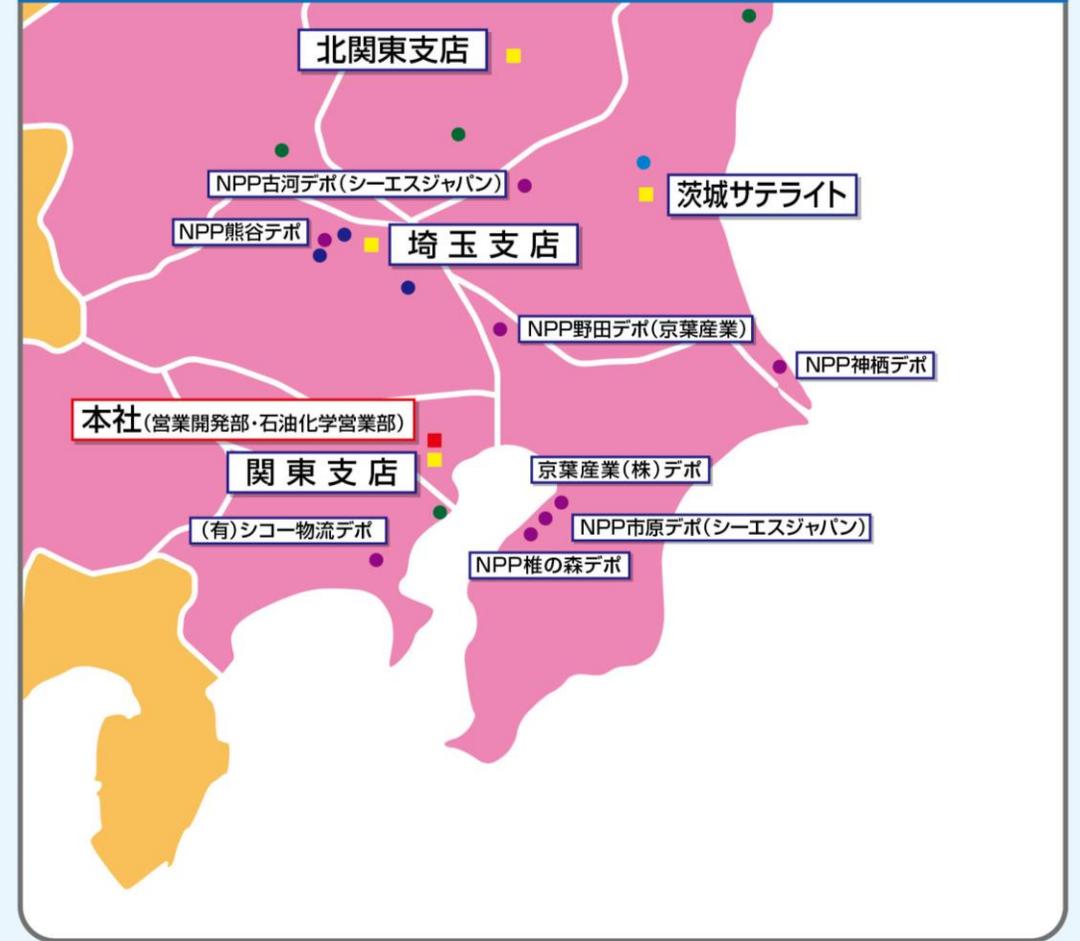
- 主幹デポ
- フロントデポ
- 特定顧客デポ
- 修理洗浄デポ

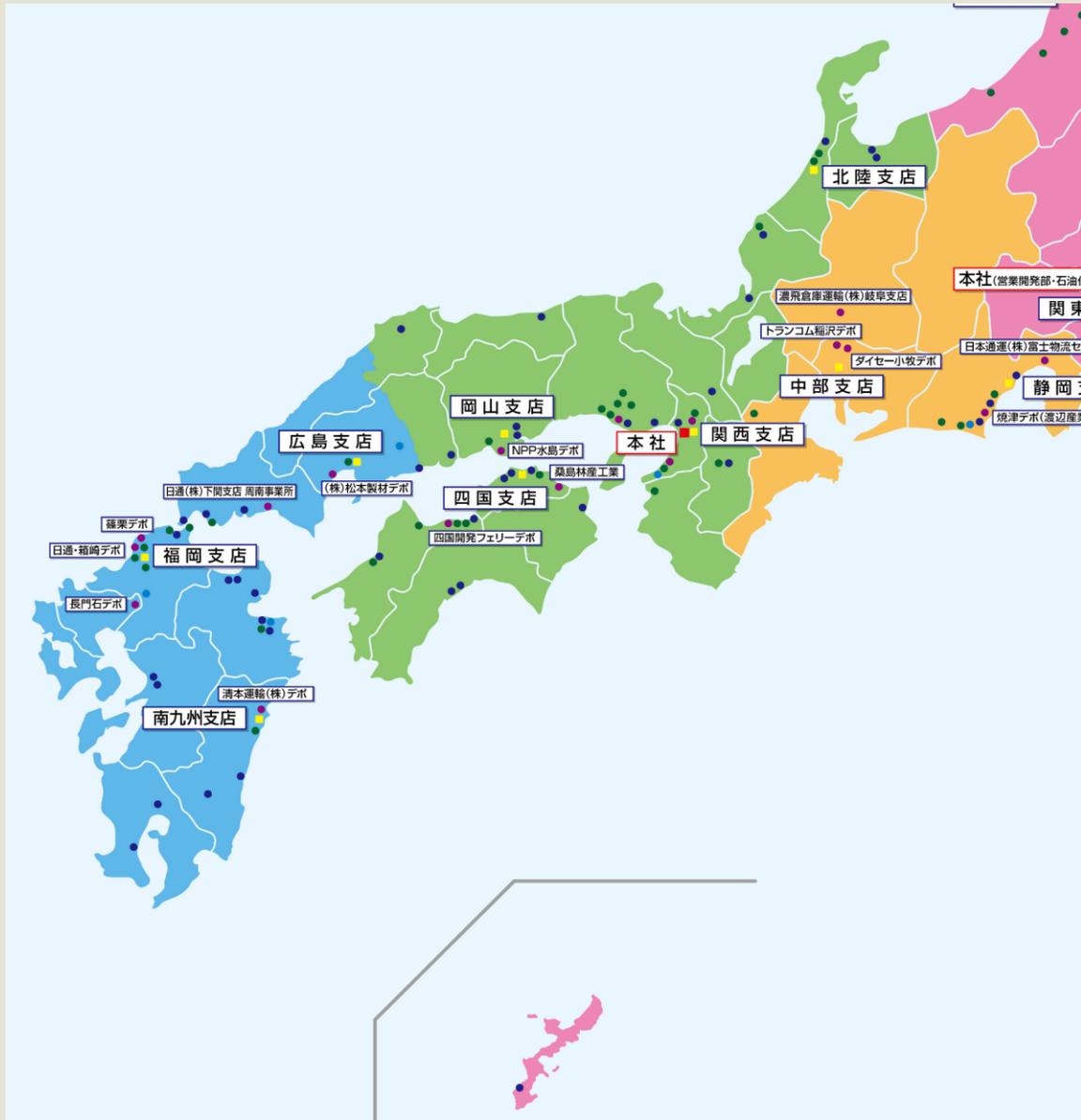
- 本社
- 支店

デポは全国に約200か所



首都圏エリア





前方のスクリーンを
ご覧下さい

経営3か年計画2027

〈2025年4月～2028年3月〉

 日本バレットプール株式会社

当社は、2025年度～2027年度の経営 3か年計画 2027(以下、本計画)を策定しましたのでお知らせいたします。

昨今、物流業界は少子高齢化による慢性的な人手不足、法改正、働き方の多様化への対応等、大きな変革を求められています。このような環境下においても、7年後(2031年度)のありたい姿～売上高100億円、経常利益10億円～を目指し、持続性ある成長を実現するために、「企業理念」を刷新し、「核となる戦略」を新たに策定いたしました。

また、東京証券取引所から要請のあった「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」にもとづき、当社の取組み内容を本計画において明らかにいたしました。

本計画において、輸送、保管などに関わる物流の効率化のサポートを通じて、成長基盤のさらなる強化・向上を図ります。また、当社は環境保護に取り組むとともに、「持続可能な社会の発展に貢献する」ことができるよう、これからもその役割を果たしてまいります。

 日本エシットプール株式会社

代表取締役社長 浜島 和利





日本パルプ株式会社

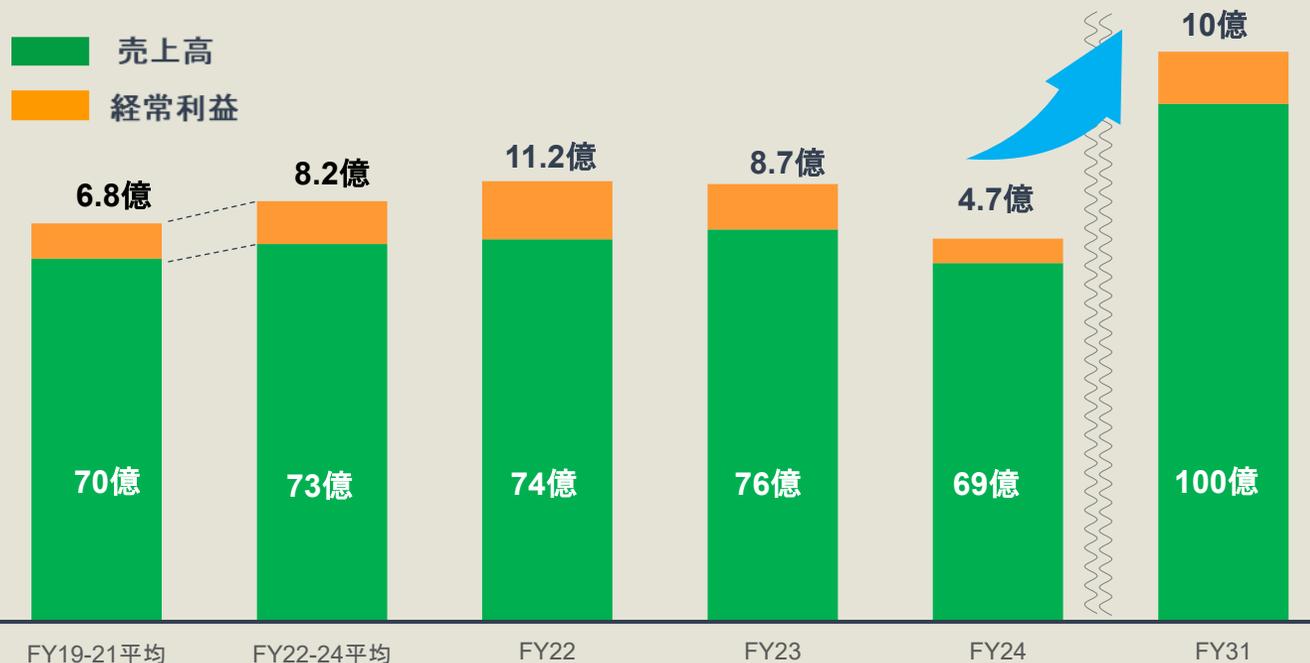
1. 前3か年計画の振り返り《業績推移》
2. 前3か年計画の振り返り《各重点施策》
3. 弊社を取り巻く市場環境
4. 長期経営ビジョン
5. 経営3か年計画
6. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」 現状分析・評価
7. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」 企業価値向上(PBR向上)に向けた取組み
8. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」 BSマネジメントの強化
9. 【資本政策】2025～2027年度 キャッシュアロケーション
10. 核となる戦略

1. 前3か年計画の振り返り 《業績推移》

直近3か年計画の業績推移

前3か年ではコア事業の拡大(素材系・原料系メーカーへのパレット拡販、保管機器類の拡販)と、事業運営体制の強化に注力し、FY19-21比の平均売上高・経常利益ともに上回る結果となった。

FY31の目標の達成に向け、本計画の「核となる戦略」の展開により持続的成長を実現する。



FY24実績

ROE

自己資本
当期利益率

4.8%

EPS

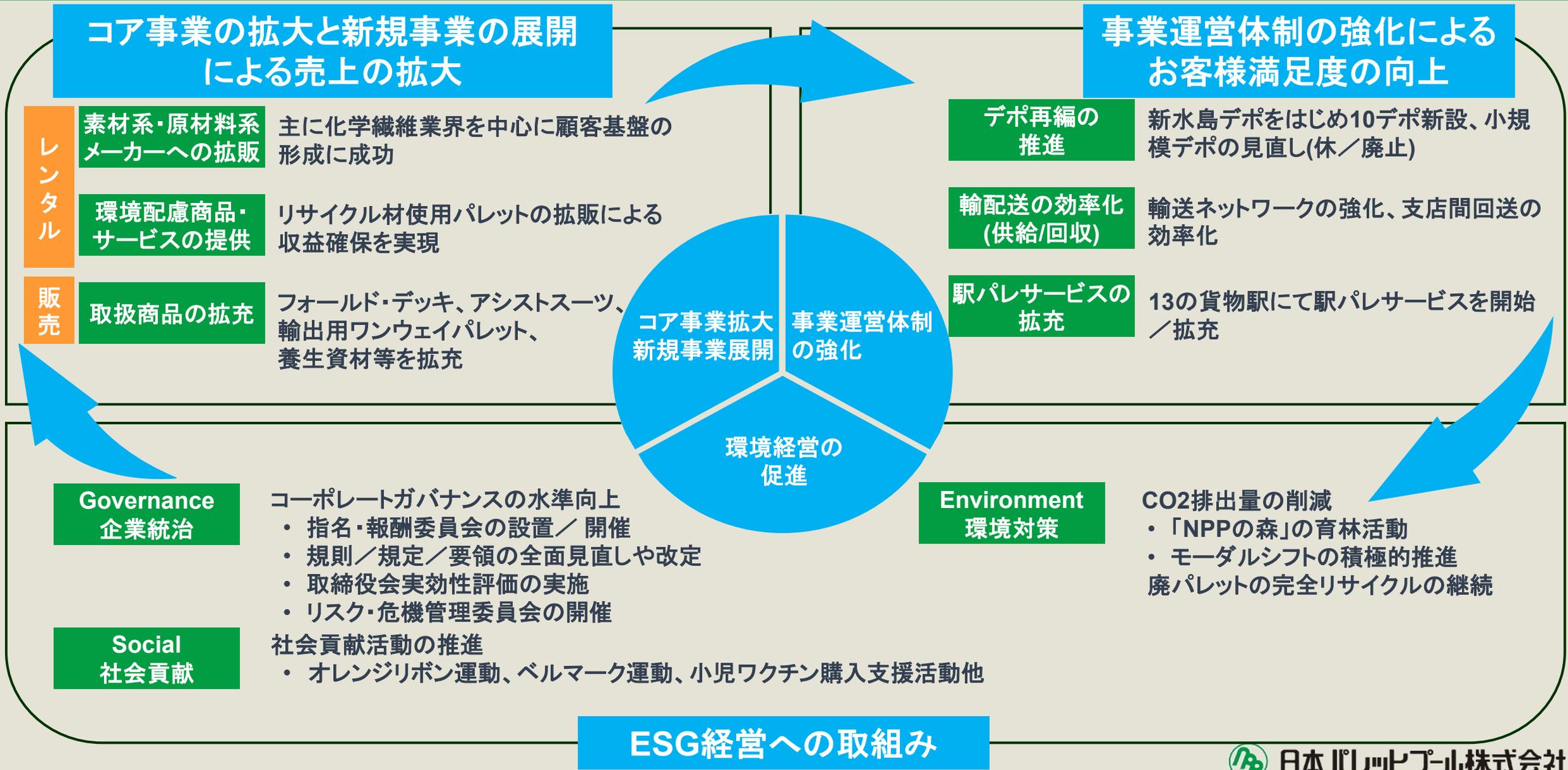
1株あたり
純利益

185円

自己資本
比率

63.6%

2. 前3か年計画の振り返り 《各重点施策》



3. 弊社を取り巻く市場環境

《機会 Opportunities》



拡大するレンタル物流機器市場

- ▶ 労働法改正や働き方の多様化への対応
- ▶ 行政によるパレット規格標準化の促進
- ▶ 高精度のトレーサビリティニーズ
- ▶ 環境経営の要請

《脅威 Threats》

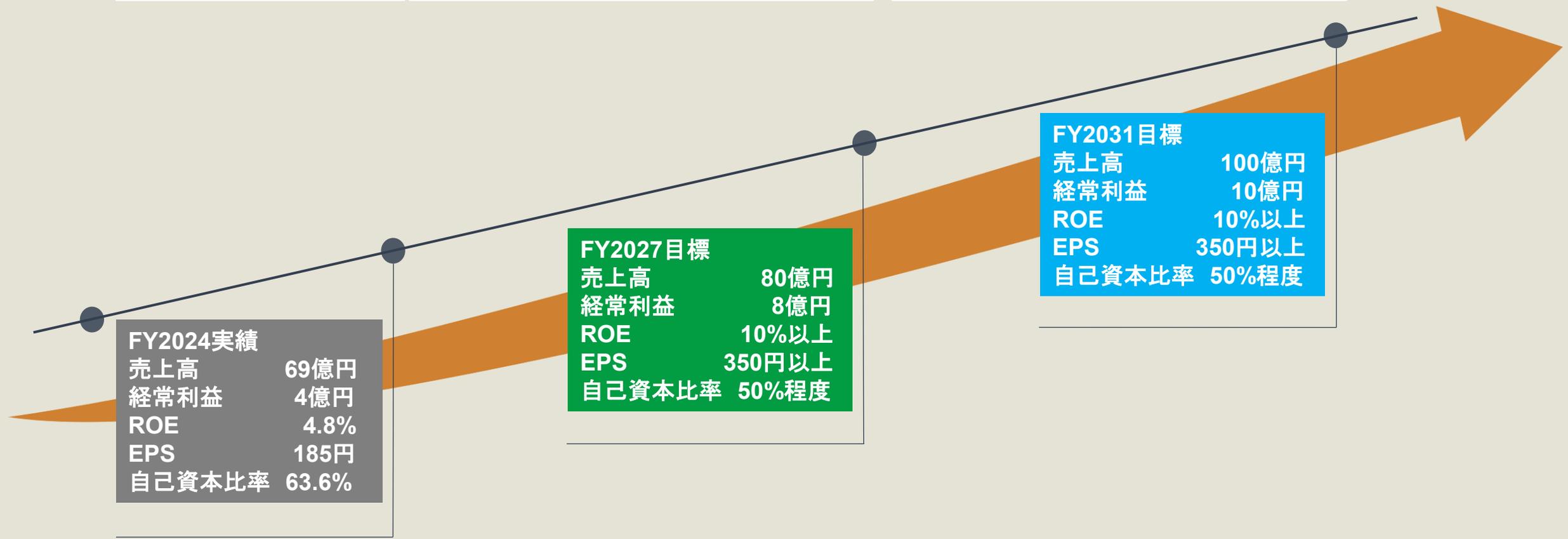


コスト増・既存マーケットの縮小

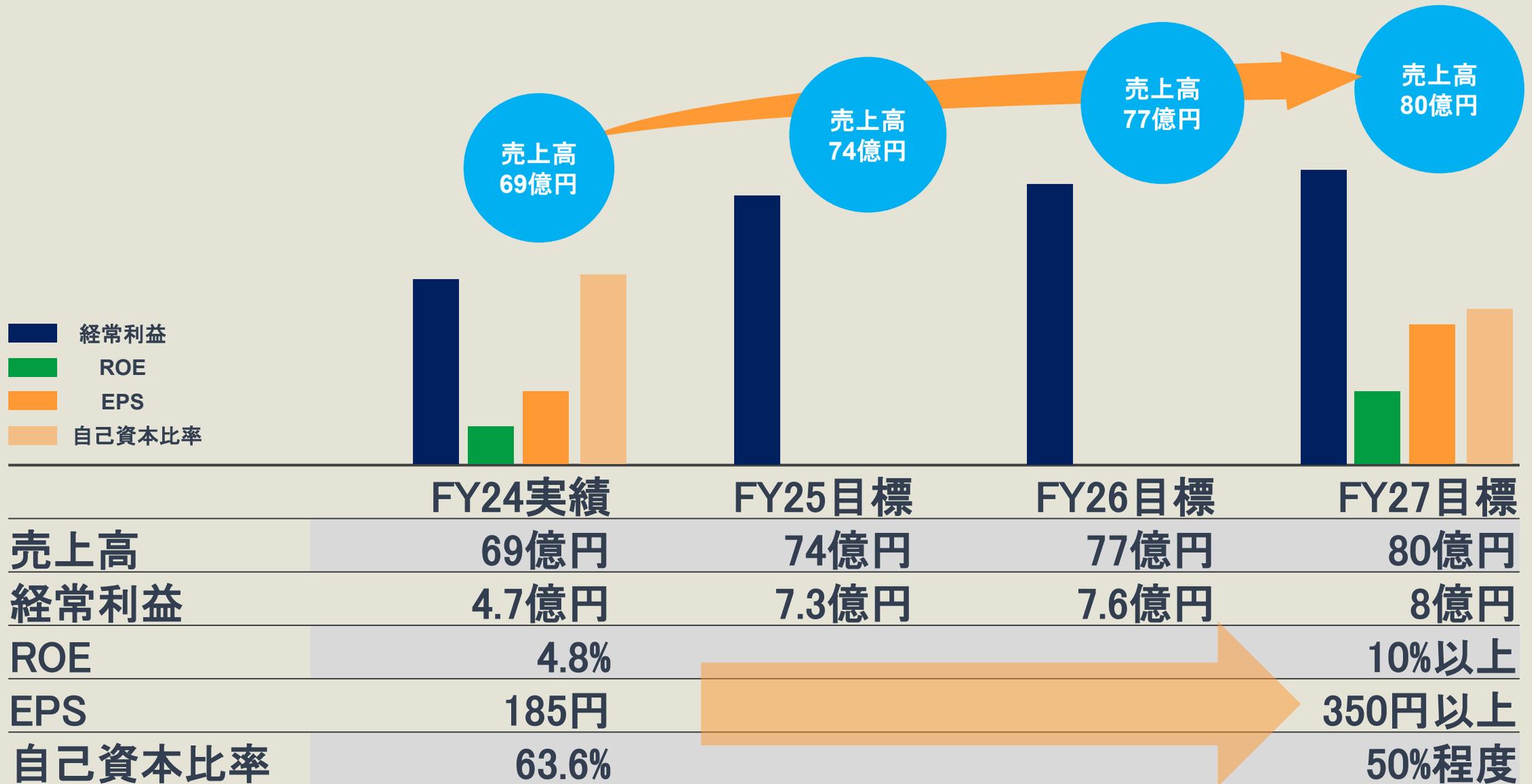
- ▶ 各種原価(原材料や燃料)の高騰
- ▶ 物価高に伴う消費低迷による物流量低下
- ▶ 中国経済の低迷の影響による、石油化学業界の製造量減少
- ▶ 新設倉庫の着工棟数減少トレンド

4. 長期経営ビジョン

長期経営ビジョンの達成に向けたさらなる飛躍をめざし、段階的な成長を本計画によって実現する。



5. 経営3か年計画①

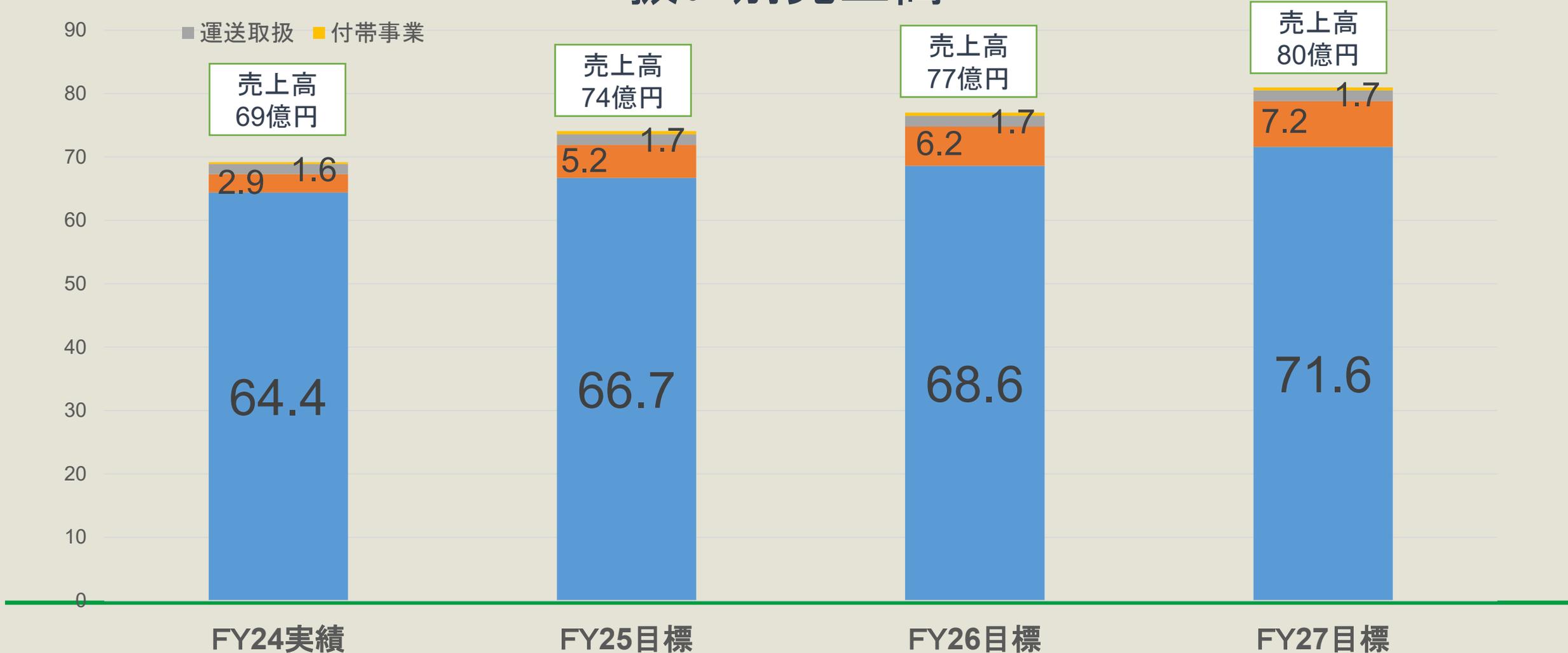


5. 経営3か年計画②

単位:億円

- レンタル
- 販売
- 運送取扱
- 付帯事業

扱い別売上高



PBR

・過去5年平均のPBRは0.5倍であり、1倍を超える状況とはなっていない。

ROE

・過去5年平均のROEは8.7%であり、当社の現在の株主資本コスト(5%程度)を上回っているものの、ROEが低いことが、PBRを現水準にとどめている要因として認識している。

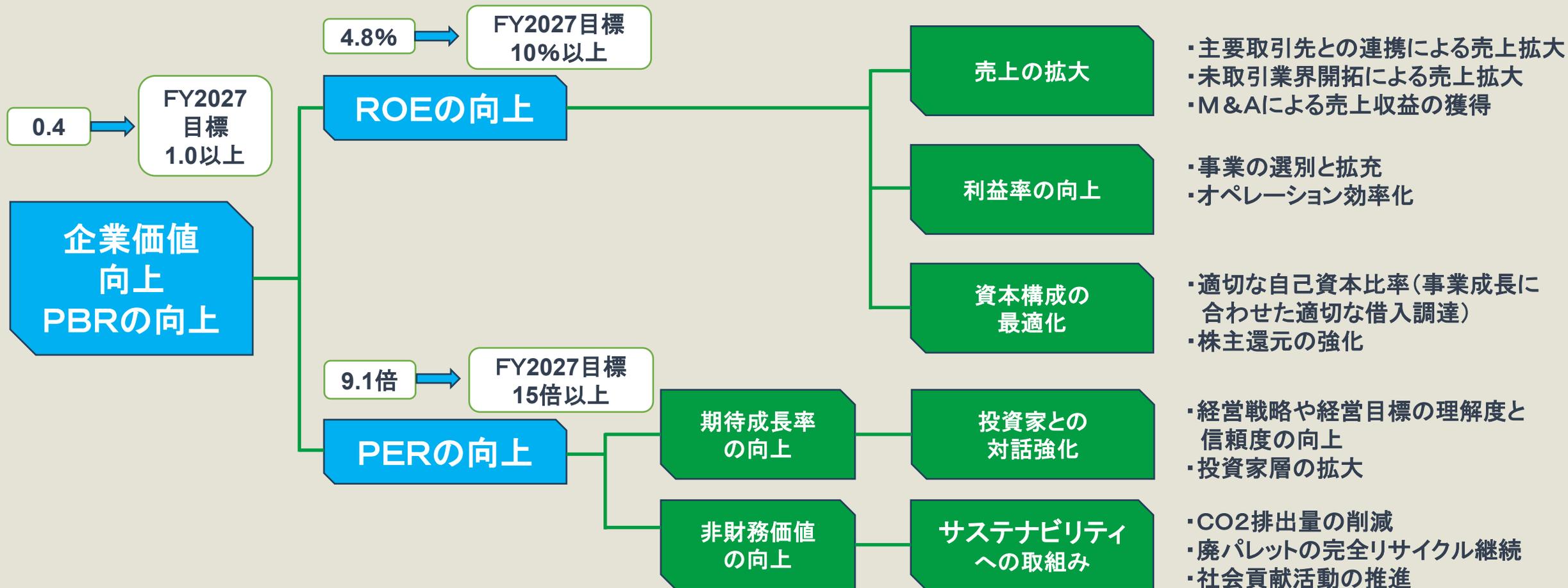
PER

・PBRの向上のためにはPERの向上も不可欠、現在のPERは過去5年平均で7.0倍であり、低水準で推移していると認識している。
 (東証スタンダード市場平均のPERは14.5倍:2024年11月時点)

指標	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	5年平均
PBR	0.5	0.3	0.6	0.7	0.4	0.5
ROE	9.6	5.4	15.2	8.6	4.8	8.7
PER	6.4	6.5	4.7	8.4	9.1	7.0

方針・目標

経営計画を着実に実行することで、当社の現在の株主資本コスト(5%程度)を上回る「ROEの向上」と「継続的・将来的な成長期待によるPERの向上」を実現し、経営計画で掲げているROE10%以上を達成する。



8. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」 BSマネジメントの強化

- ・資本効率を意識した成長投資を行い、優良な資産を積み上げていくことで、収益力を向上する。
- ・有利子負債の活用と株主還元強化による資本構成の最適化により、継続的なROEの向上を実現する。

FY2024実績

PL

BS

総資産
101億円

売上高
69億円

当期
純利益
3億円

自己資本比率
63%
自己資本
64億円

ROE4.8%

成長投資
(増強設備・M&A)

運転資金の圧縮

有利子負債の活用

株主還元強化

FY2027目標

PL

BS

総資産
160億円

売上高
80億円

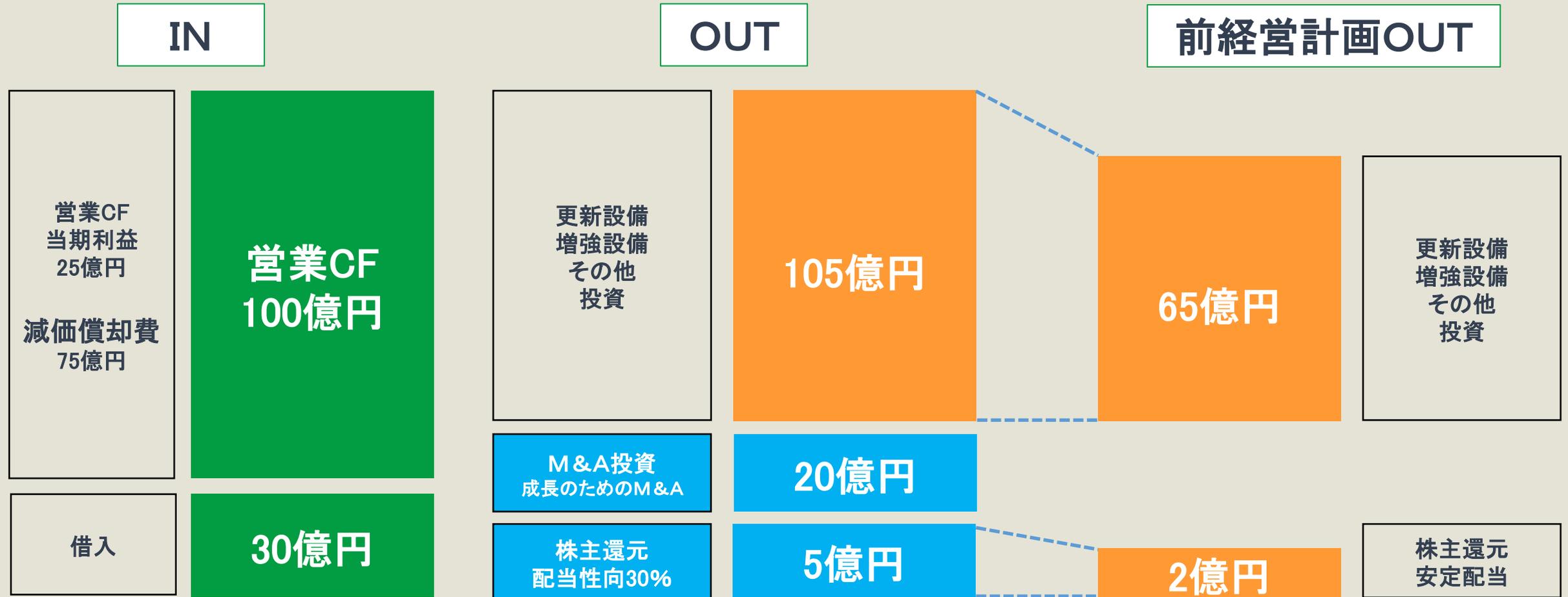
当期
純利益
8億円

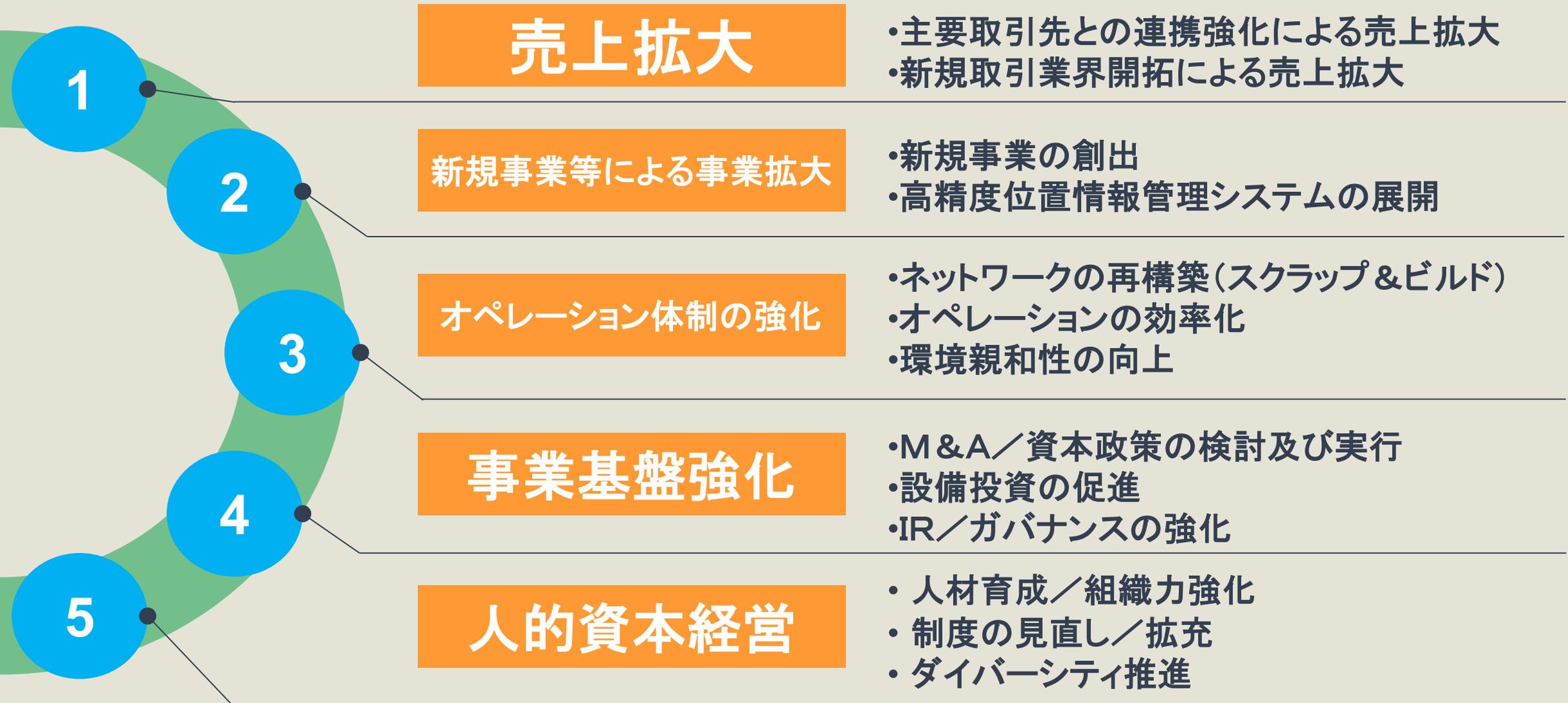
自己資本比率
50%程度
自己資本
80億円以下

ROE10%以上

9. 【資本政策】 FY2025～FY2027 キャッシュアロケーション

事業活動を通じて創出したキャッシュを原資とし、更新投資、成長投資（増強設備、M&A投資）、株主還元振り分けする。また、株主還元を明確化するため、当社として初めて配当性向（30%以上）を設定した。





ESG

サステナビリティ活動



環境 >

育林活動やリサイクル材を使用した再生パレットの購入などの取り組みを行っております。



社会 >

オレンジリボン、ベルマーク運動のほか、小児ワクチン購入支援運動や地域清掃活動も行っております。



ガバナンス >

コーポレートガバナンスの水準向上、コンプライアンスの強化などの取り組みを行っております。

CO₂排出量の削減 >

私たちは木を伐採した後に植林を行うという循環型事業やモーダルシフトの積極的展開、ペーパーレス化などCO₂削減の為の取り組みをおこなっております。



リサイクル >

プラスチック再生パレットの購入。使用済み木製パレットを木材製品の原材料、バイオマス燃料等の原料にするなどリサイクル活動に取り組んでおります。



2025年6月23日

水島デポ 太陽光発電設備の設置について

日本パレットプール株式会社(本社：大阪市北区、社長：浜島和利)は、岡山県倉敷市南畝の「水島デポ」の使用電力をすべて再生可能エネルギーで賄うため、太陽光発電設備を設置いたしました。

水島デポは、約4万枚のパレットが保管でき、1時間に200枚のパレットを洗浄できる高スペックの洗浄機や、返却されたパレットを良品化するための選別機を導入しており、中四国エリアの中核デポとして運用しております。

当社は今後も環境保護に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

1. 拠点名称

日本パレットプール株式会社 水島デポ
岡山県倉敷市南畝3丁目7-37

2. 水島デポの概要

敷地面積： 6,235 m²、保管面積： 2,737 m²、洗浄機処理能力： 200 枚/時

3. 太陽光発電設備の概要

太陽光パネル最大出力： 137.76kw 、年間予想発電量： 174,679 kwh

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【水島デポの太陽光発電設備】

P-26

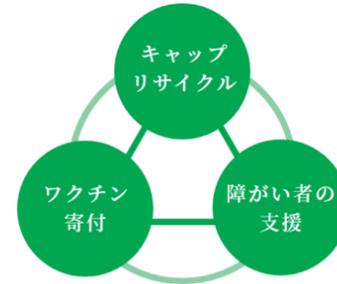


当社は児童虐待防止全国ネットワークが主催するオレンジリボン運動に参加しています。



当社は全社員にペットボトルキャップの回収活動を呼びかけ、集まったペットボトルキャップを定期的に特定非営利活動法人キャップの貯金箱推進ネットワークに送付しています。

キャップの貯金箱推進ネットワークについて



キャップの貯金箱推進ネットワークは「キャップのリサイクル運動」、「ワクチンの寄付」、「障がい者施設に仕事を提供」の3つの活動を主に行っている特定非営利活動法人です。

たとえば、キャップのリサイクルについてはプラスチックの再利用だけでなく、焼却処分時に発生する二酸化炭素の削減、そして地球の温暖化防止にも貢献しています。

何気なく捨てているキャップで子どもたちが救えます

全国各地の企業や小学校・中学校などの各種教育機関などからボトルキャップをお送りいただき、それらをリサイクルメーカーに売却することで得られる利益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」に寄付しております。

この団体を通じて、世界中の病気に苦しむ子どもたちの元へワクチンや医療物資が届けられています。



当社は2022年4月4日に
東証スタンダード市場へ移行しました。

コーポレートガバナンスの水準をさらに向上させるため、指名・報酬委員会を設置しました。また、取締役会実効性評価を毎年実施しています。



当社は社員のコンプライアンスを強化する為、
講習やアンケートを定期的におこなっております。

- ◆ 当社は6カ月に1回、情報システムセキュリティ講習、セクシャルハラスメント講習、パワーハラスメント講習を実施しております。
- ◆ 当社は毎年12月に全役員・従業員を対象にコンプライアンスアンケートを実施し、コンプライアンスの順守状況を確認しております。

JR貨物八戸貨物駅近接倉庫での「駅パレ」の開始について

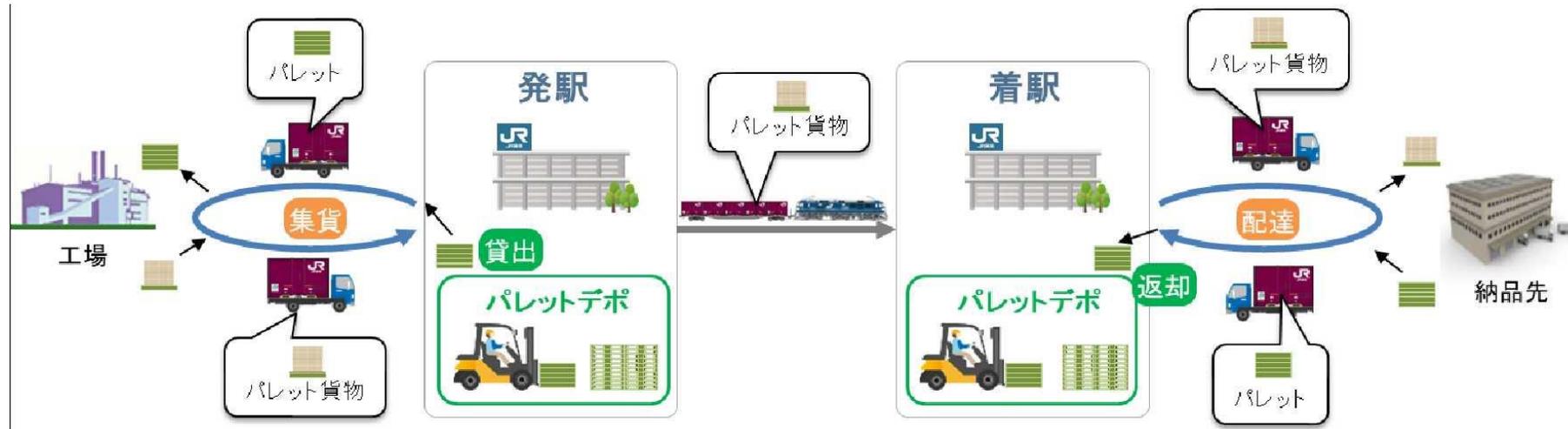
日本パレットプール株式会社（本社：大阪府大阪市 以下「NPP」）と日本貨物鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区 以下「JR貨物」）は、貨物駅構内等でパレットの貸出・返却ができるパレットデポ「駅パレ」を八戸貨物駅近接倉庫に開設します。

これによりNPP及びJR貨物は、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」で掲げた社会に提供する4つの価値の1つである「物流生産性の向上」に向けて、SDGsの実現や物流を取り巻く諸課題の解決に向けて貢献していきます。

1. 「駅パレ」とは

「駅パレ」は、NPPとJR貨物が連携して貨物駅構内または近隣に設置するパレットデポで、お客様やすべての鉄道利用運送事業者が手軽にパレットの貸出・返却ができるサービスです。

「駅パレ」利用イメージ



2. パレット利用のメリット

トラックドライバーの集配作業時間の短縮や、集配トラックの運用効率の向上が期待できます。当施設の開設により、全国の貨物駅における「駅パレ」の開設箇所は14カ所となり、他駅の「駅パレ」とも組み合わせ、広くご利用いただけます。

3. 八戸貨物駅「駅パレ」の概要について

- (1) 所在地 : 八戸通運(株)八戸貨物営業所(JR貨物八戸貨物駅近接)
青森県八戸市大字長苗代字下亀子谷地 23-10
- (2) 運営主体 : NPP
- (3) 作業委託会社 : 八戸通運株式会社
- (4) 利用開始日 : 2025年4月1日(火)
- (5) 取扱パレット : 「11型パレット(1,100mm×1,100mm)」

© 2024 NPP. All rights reserved.